

⑤ 甲州弁のススメ「えらい」

方言「えらい」の複数の意味を読み取り、方言のよさについて自分の考えをもつことをねらいとしています。本文は、「えらい」の意味や使い方について、具体例を挙げながら説明しています。筆者の表現の工夫にも、着目するとよいでしょう。

⑤ 甲州弁のススメ「えらい」

チャレンジ・タイム！

○記事の中(見出し、さし絵はのぞく)に、「えらい(えらかった、偉い)」という言葉は、何回出てくるでしょうか。
二分間で読んで、数えましょう。
用意はいいですか？
では、スタート！

25
回

文章をある程度の速さで読むことができると、読む力の向上につながります。

「えらい」の意味はどれかな？

○上のさし絵の「えらい」の意味を、それぞれア～ウの中から一つずつ選んで、記号を書きましょう。

①「あー、えらい」

ウ

②「ちょっとえらいです」

ア

ア
むずかしい。
イ
程度が激しい。
(すごい・ひどい)
ウ
体力的にきつい。

主語と述語の関係を意識させ、「ところがよいと思います。」に続くように書くことが大切です。

I LOVE 甲州弁！

○方言は、どんなところがよいと思いますか。あなたの考えを書きましょう。

方言は、

(例)自分の気持ちをぴったりと言い表すことができる

ところがよいと思います。

方言のよさについて、家の人や友達と交流するとよいでしょう。第5学年「方言と共通語」の単元と関連させて、本問を活用することもできます。